ふっさ 広報

七夕まつりキャラクター
「たっけー☆☆」

FUSSA

ホームページ http://www.city.fussa.tokyo.jp/

平成22年(2010年)
7月15日　No. 811

発行/福生市　編集/企画財政部秘書広報課
〒197-8501 福生市本町5
☎042-551-1511（市役所代表）
毎月1日・15日発行

人口と世帯数(平成22年7月1日現在)

区分		住民基本台帳	外国人登録	合　計
人口	男	29,188	1,093	30,281
	女	28,665	1,284	29,949
	計	57,853	2,377	60,230
世帯数		27,776	1,257	29,033

今号の主な記事
2面人権ふれあい写真コンテスト実施　3面祭礼・七夕まつりに伴う各種変更のお知らせ　4面・5面福生市民総合体育大会
6面女性特有のがん検診推進事業(子宮頸がん・乳がん検診)　7面夏休み親子施設見学会参加者募集　8面保健ガイド

3面に七夕まつりに伴う各種変更のお知らせを掲載しています。

第60回 福が生まれる星まつり

60TH FUSSA TANABATA FESTIVAL 2010

福生七夕まつり

市制施行40周年記念事業 ANNIVERSARY 40 60

2010年8月5日(木)、6日(金)、7日(土)、8日(日)

問合せ七夕まつり実行委員会事務局☎551・1699

☆七夕まつり期間中の主なイベント☆

8月5日(木)
▶オープニングセレモニー・織姫コンテスト
時間午後4時～6時30分
会場福生駅西口駅前特設ステージ
▶星のパレード
時間午後7時30分～8時30分
会場福生駅前→駅前通り→銀座通り

8月6日(金)
▶みこし・山車パレード
時間午後3時～6時30分
会場福生神明社→新奥多摩街道→市役所前
▶民踊パレード
時間午後5時20分～8時40分
会場銀座通り→福生駅前→駅前通り→栄通り

8月7日(土)
▶東京消防庁音楽隊
時間午後2時～2時45分
会場福生駅西口駅前ロータリー
▶ガマの油売り＆バナナのたたき売り
▶米軍ロックバンド
時間午後8時～8時45分
会場市役所丘の広場

8月8日(日)
▶仮面ライダーショー
時間午後2時～2時30分、午後4時45分～5時15分
会場市役所丘の広場
▶サンバパレード
時間午後2時30分～、午後4時30分～
▶打ち上げ花火
時間午後7時40分～8時

※今年はイベント会場が第一小学校校庭から市役所丘の広場へ移ります。

最新情報は公式ＨＰをご覧ください！

福生七夕まつり公式ＨＰがリニューアルしました。
URL http://www.fussa-tanabata.com

⬆携帯電話でも最新情報がご覧いただけます。

飾り付けを楽しもう！

8月5日(木)・6日(金)には飾り付けコンクールの審査が行なわれます。今年はどの飾り付けが入選するか予想しながら散策してみては？

⬅第59回飾り付けコンクール特選作品
【竹飾りの部】柘植表具店(左)
【壁面飾りの部】武陽ガス(右)

七夕絵画コンテスト作品展＆写真展開催

昨年度のふっさ七夕絵画コンテスト入選作品を展示します。子どもたちの力作をご覧ください。また、昔の七夕まつりを振り返る写真展も同時開催します。
期間7月28日(水)～8月4日(水)
場所市役所展示会場

ふっさ七夕・60年

1951(昭和26)年、女性の平均寿命が60歳を超え、国内は朝鮮戦争の特需景気にわいていた。この年、福生は人口1万5千の町で、7月3日、福生駅前の中央商栄会で「福生七夕まつり」が産声をあげた。当時、駅前通りの幅員は8メートルほどだった。

［仙台がヒント］

第二次世界大戦の末期、七夕で名高い仙台は空襲で一面焼け野原になり、住民はバラックや防空壕で生活をしていた。終戦直後、仙台にいた町職員の佐藤三郎さんは「翌年8月、ベニヤ張りの商店の前に大きな竹が立ち、くす玉が垂れ下がり町が明るくなった」と述懐する。この思い出がまつり誕生のヒントに。

物資が乏しいとき、竹に色とりどりの短冊や、赤・青のモールが飾り付けられた。既製品ばかりで華やかさはないが、見物客が来て3日間にぎわった。翌年、町全域の商店が七夕に参加し、竹飾りコンクールが始まった。

56年「壁面飾り」が登場、まつりは豪華の一途をたどる。商店主は早くから飾りのプランを練り、当日まで何が出てくるのかを極秘にした。10年たって「ミス東京パレード」がデビュー。福生一小校庭特設ステージでの「歌謡ショー」「七夕寄席」も肉付けを増す。

［横文字の七夕］

「七夕」・・・・・日本人ならではの特異な郷愁を感じるまつり。横田基地の米兵、その家族も七夕に姿を見せる。基地を意識した演出なのか、飾りに英語が増え、新聞は「横文字の七夕」と書いた。

まつりに市民を参加させ、もっと生き生きとしたものにすべきだ。66年「福生音頭」の制作に乗り出す。歌詞を全国から募集し、作詞家西沢爽さんが補作した。歌手は当時、新人の都はるみ、杉良太郎を起用。

68年「福生音頭パレード」がスタート、沿道をわかせる。まつりで米兵がハッピ姿でみこしを担ぎ、将校夫人は民踊パレードで「日米親善」を見せる。その後、七夕では福生と同じ年齢の平塚が、都はるみの歌で「七夕おどり」を制作、パレードを始めた。

［梅雨避け8月］

順調に走り出した七夕まつりは68年、梅雨を避けて8月初めに移る。前年は初日だけが晴れ、後の3日は大雨で商店は悲鳴を上げた。「七夕まつりは、仙台と同じ夏休み中がベスト」、否も応もなかった。

福生が市に昇格した71年以降、七夕まつりの主導権を市が握る。市の思惑は当たり、米国からの観光客も訪れた。74年「ミス福生コンテスト」が誕生、77年「ミス七夕コンテスト」と名を改め、出場者の応募範囲を広げた。

毎年ミス1人、準ミス2人の計3人を選ぶ。ミスたちはパレードや市の行事に花を添え、一人は「ミス福生」として「ミス東京コンテスト決選大会」に市代表として臨んだ。その後、小学生以上を対象にした「織姫コンテスト」が再登場する。

［市民の模擬店］

40年も続いた露店が93年に姿を消し、変わって市民の模擬店が出店した。露店は七夕の彩りとして歓迎されたが、暴力団との関連もあって締め出しを図った。模擬店会場を「ギャラクシー・ストリート（天の川通り）」と命名。夢想だにしなかったほど、まつりは明るさを増した。駅前通りの拡幅、銀座通りのカラー舗装も完成。商店主は「テーマを考えるのが大変」といいながら飾りを続ける。

［商店のまつり］

2000年に50回を記念し、高橋一郎さんのモダンな「福生七夕音頭」が生まれた。曲はリズムにロックを巧みに取り込んでいる。まつりの裏方を支える市民ボランティアの姿が、徐々に増えてくる。

ここ数年、寂しくなった七夕飾りに今年は補助金が出る。花火も11年ぶりに復活し、客の誘致に一役買う。

加藤育男市長は「七夕は市民まつりに移行してきている部分もあるが、基本的には今も商店街のまつり」という。

坂本　丁次(ジャーナリスト、武蔵野台在住)

※これまで実行委員や「福生音頭」選定委員、「ミス七夕コンテスト」選出委員など、福生七夕まつり初期から長く関わった坂本丁次さんに、10年前の広報ふっさに寄稿していただいた「ふっさ七夕・半世紀」に手を加え、60年の歩みをまとめていただきました。

七夕まつりの詳細は広報ふっさ8月1日号と一緒に配布されるパンフレットをご覧ください